



## 皆様の近隣センターをどうぞよろしく

センター長 澤田 康夫

皆さんの増尾近隣センター。近隣センターは、地域の方々の身近な所にあるスポーツやサークルの活動拠点です。市内には、17地区にこうした近隣センターがあります。どの地区にも各町会の方々などで組織された「ふるさとづくり協議会」があり、協議会の皆様のご協力とご支援により運営されています。

増尾地区にも「増尾近隣センター運営協議会」があり、ゴミゼロ活動やスポーツ大会、文化祭、囲碁将棋大会、芸能発表会、グランドゴルフなど多彩な活動を展開中です。

近隣センター内には、協議会の事務室も置かれ、こうした活動の拠点ともなっています。また、近隣センターを利用する160ものサークルが、スポーツや音楽、芸能、手工芸、料理、俳句、茶道、書道、絵画、武術、育児の集まりなどの活動に励んでいます。

近隣センターでは、子育てセミナーや、高齢者学級の開設の他、各種健康診断、ふれあいリハビリ等の会

場としても利用されております。さらに近隣センターを会場として、消費生活セミナーや税の出張受付なども行っています。

近隣センター内には、図書館も併設されておりますので、身近な図書館として大いにご利用下さい。

読みたい本が見つからない時は、リクエストにも応じていますのでお申し出下さい。

今後も皆様のご利用をお待ちしておりますので、近隣センターをどうぞよろしくお願い致します。



## まちじまん

私たちが生活しているこの地域の、身近な名人、庭、樹木、珍しいもの、作品などをこの欄で紹介していきたいと思ひます。どしどし広報部までご応募下さい。

今回は南ヶ丘地区の珍しい木と増尾東映第一団地の俳句会をご紹介します。

### なんじゃもんじゃの木

東逆井1丁目 井藤千枝三

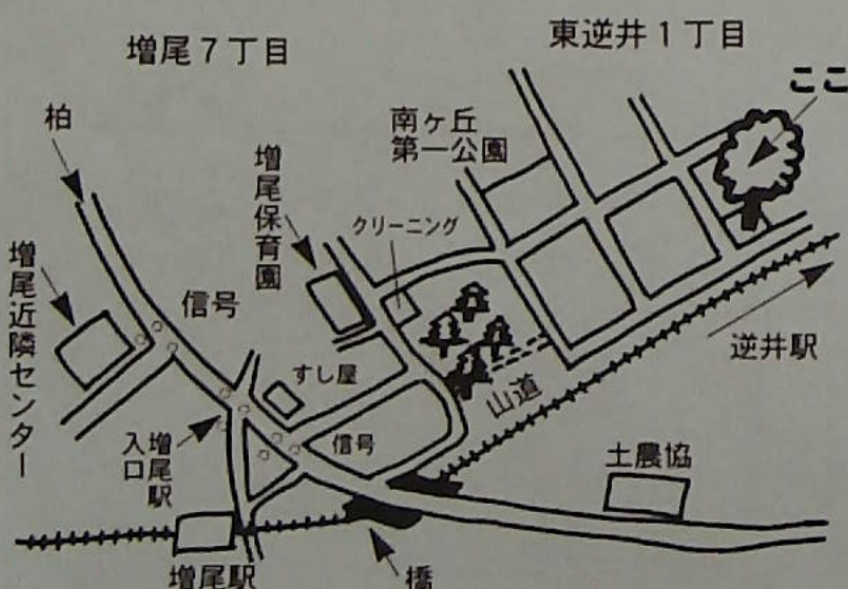
この木の和名「ひとつばたご」、俗名「なんじゃもんじゃ」と呼ばれている珍しい木です。

昭和60年頃、明治神宮外苑から苗木で頂き、2、3年鉢植えで育てていましたが、雪で枝が折れて傷んでしまいました。その後地植えに移したところ、根づきが良く順調に成長を続けています。

今では、高さ8メートル幹まわり78センチ程です。光ヶ丘の広池学園内の「なんじゃもんじゃ」よりは小さな木ですが、毎年4月の末から5月の連休にかけて真っ白な花が咲き、散りはじめると雪が舞い散るように見えます。



△水戸光圀公が、この木は「なんじゃ」と尋ねられ、返事に困った将軍がとっさに「なんじゃもんじゃ」と答えたことから、この木の名前が付いたそうです。



**増尾東映俳句会だより**  
昨年十月に発足した増尾東映俳句会（増尾東映第一団地）は、その後順調に続行され、毎月一回（第四日曜日）の会合は、楽しい雰囲気の中に開かれております。  
二月の特選句  
しとみど  
萩戸の触れなむ迎り梅白し  
老梅の一樹潤おす雨となる  
諏訪和男

## お知らせ

●名称の統一等について  
佐藤 秀哉

平成15年1月のふるさとづくり協議会等の連合会定例会において、各協議会における名称の統一が提案され、現在の増尾近隣センター運営協議会と言う名称を柏市増尾地域ふるさと協議会に改めることを提案されました。

これは各協議会等の名称がまちまちで、名称の統一が地域住民からの要望で提案された内容です。

また、現在、各協議会等で実施されている保健福祉については、地区社会福祉協議会に役割分担として移行するように提案されました。以上2件については5月の増尾近隣センター運営協議会総会にて提案されることとなります。

●総会開催について  
平成15年度増尾近隣センター運営協議会の総会が5月18日（日）開催されます。協議会委員には改めて文書で通知いたします。（総務部）

●ゴミゼロ運動について  
例年通り雨天決行の柏市全地域で繰り広げられるゴミゼロ運動に今年は5月25日（日）8時30分よりご参加をお願いします。  
尚、各町会・自治会では分別収集して最終ゴミ収集所の増尾近隣センターへ、10時までに運び込みをお願いします。（環境部）

●視察研修について  
5月28日（水）増尾近隣センター運営協議会委員に依る日帰り研修を予定しております。（総務部）



△増尾町会自主防災会役員研修

みんなで守ろう  
「いのちと暮らし」

# 参加しよう！ 地域活動と生涯学習

## 新春囲碁将棋大会

1/26

恒例の新春囲碁将棋大会は1月26日(日)大勢の参加者を得て、2階和室と1階会議室で開催されました。参加者は優勝をめざして真剣そのものでした。



△吹けば飛ぶような駒に……

△静かな和室に響く石の音……

### —囲碁の部—

Aクラス 優勝 宮本 成文	Bクラス 優勝 前田 留次
準優勝 金子 幸男	準優勝 今井 良晴
3位 岡 和良	3位 高城 守
Cクラス 優勝 吉田 俊雄	
準優勝 渡辺 茂六	
3位 穂谷 石春	

(文化部)

### —将棋の部—

Aクラス 優勝 松長喜久郎	Bクラス 優勝 寺沢 国雄
準優勝 森岡 暁	準優勝 日暮 孝雄
3位 川村 敬	3位 佐々木英彦

## 増尾近隣センター

## 芸能発表大会 3/16

春を身近に感じるなか、去る3月16日(日)当センター体育室に於て、恒例の芸能発表大会が華やかに開催されました。この大会も今年で21回を迎え、これまで地域の人達に多くの関心をいただき、今では楽しみを増やすイベントとして根強く定着しています。

この日も世代を越えた心のふれあいを大切に、芸域の広い演技が披露され、例年を上回る盛況ぶりでした。これからも地域福祉の一環として、幅広い企画を促進し、潤いと実りのある芸能発表会となるよう今後ともすすめていきたいと思ひます。

(福祉部)



△民謡「津軽山唄」



△南中ソーラン ドッコイショ

## 講演会

## 地域で支える高齢化社会

2/15

平成15年2月15日(土)柏市文化会館小ホールに於いて、「コミュニティリーダー育成事業講演会」が開催されました。

この講演会は、ふるさとづくり協議会等連合会が主催しており、企画・運営などをコミュニティリーダー育成事業実行委員の方々を担当され、日頃皆様が地域で抱えている介護・高齢者問題を解決する糸口となり、またボランティア等地域活動に取り組む原動力となればとの思いから計画されたそうです。

今回の講師は、自ら介護経験をお持ちになり、またご自身も脳出血で倒れられ、懸命のリハビリによって回復を果たされたご経験のある、元日本テレビ・アナウンサーの小林完吾氏で、テーマは「地域で支える高齢化社会」と題して、得意の話術と経験に裏打ちされたお話は非常にわかりやすく、説得力のあるものでした。

お話の中で特に感動したのは、生後たった100日あまりで旅立ってしまったダウン症のご長男のお話。短い人生であったけれどもステキなお土産を多くの人達の心にのこしていったくれた、家族の絆の強さと大切さを学ぶことができました。また脳梗塞の母を5年前に看取った経験から「基本的に親の介護は子供がすべき」と自身の考えを主張しつつ、介護する側のメンタルケアの必要性などについて、来場者との対話を交えながら語った。会場は終始笑いや深いうなずきが見られ、中には熱心にメモを取る人もいて介護に対する関心の高さがうかがえました。

根津 光男

## 健康教室 3/1

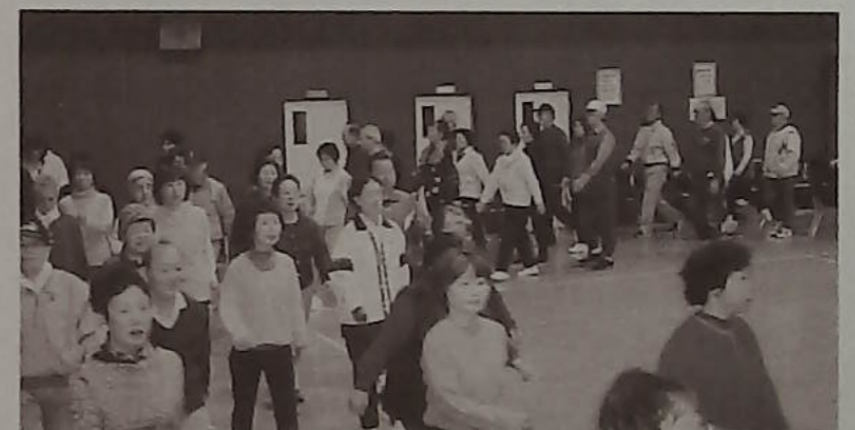
### 若がえるウォーキング教室

3月1日10時より「これからは5歳は若く見られたい」という思いを胸に秘め、ウォーキング教室に100名の男女が参加をしました。高橋光江先生の軽妙な指導に私達は心を和ませ写真のように美しい歩き方が出来るようになりました。参加者の皆さんは若がえって増尾の町を歩きます。

(保健体育部・健康づくり推進員)



△中央が高橋光江先生



△背すじを正して美しい歩き方



△男性の参加が目立ちました

## まちを美しく歩こう



### ●上手なシューズの選び方

- ・つま先にゆとりがある
- ・かかとにクッションがある
- ・通気性がある
- ・足に良くフィットする

インターネットをお使いの方「まちを歩こう」を検索してみましょう。「まちを歩こう！増尾周辺」が出てきます。あなたのウォーキングコースが見つかるかも知れません。